

環境政策検討会議と合同で会議

三重県商工会議所連合会（会長：竹林 武一）は、10月9日（火）当連合会会議室にて、第8回国際・観光政策検討会議（座長：上田 豪〔津商工会議所副会頭〕）を環境政策検討会議と合同で開催しました。

当日は、三重県雇用経済部濱口正典人権危機管理監より、「みえ産業振興戦略（以下「同戦略」）」についてお話いただきました。

同戦略は、三重県が本年7月に新たに策定された三重県の産業振興戦略で、地域から新しい時代を拓く「地域の成長戦略」とされており、産業政策全般から再生可能エネルギー、地域資源、観光の産業化や海外展開など多岐に亘っております。新しい時代を拓く新産業・新市場創出など6つの戦略を基本柱に策定されています。

同戦略の策定にあたっては、企業の方々の「肌感覚」に近い「使える」戦略とするため、県内外約5,000社へのアンケート調査や県内外1,052社へ訪問され、実効性の高い戦略とされています。

当連合会では、今後、同戦略の細目について掘り下げ、各商工会議所や企業等で活用できる事業について検討を行っていくことになりました。



▲両政策検討会議を代表して挨拶する上田
国際・観光政策検討会議座長



▲濱口三重県雇用経済部人権危機管理監
（右から3番目）

第8回 環境政策検討会議

国際・観光政策検討会議と合同で会議

三重県商工会議所連合会（会長：竹林 武一）では、10月9日（火）当連合会会議室にて、第8回環境政策検討会議（座長：閑納 眞一〔名張商工会議所常議員〕）を国際・観光政策検討会議と合同で開催、その後第8回環境政策検討会議を開催しました。

当日の合同会議では、三重県雇用経済部濱口正典人権危機管理監より、地域から新しい時代を拓く「地域の成長戦略」として、産業政策全般から再生可能エネルギー、地域資源、観光の産業化や海外展開など6つの戦略を基本柱に策定されています「みえ産業振興戦略」についてお話いただきました。

その後、環境政策検討会議では、日本環境技研(株)取締役・都市環境企画部長桑原 淳氏より「新エネルギー導入の現状について」、三重県農林水産部木質バイオマス推進監 森本正博氏より「木質バイオマスの概要について」それぞれお話いただき、新エネルギーの技術動向や導入事例、また木質バイオマスの利用状況や課題などについて理解を深めました。

当連合会では、今後、全国の自治体、企業等が活用している木質バイオマスや新エネルギーの利用などについて先進地への研修を行い、新エネルギーについてさらに検討を進めていくことになりました。



▲桑原日本環境技研(株)取締役・都市環境企画部長（左側）



▲森本三重県農林水産部木質バイオマス推進監（左側）

第8回 産業政策検討会議

三重県商工会議所連合会（会長：竹林 武一）は、10月29日（月）当連合会会議室にて、第8回産業政策検討会議（座長：廣田 武〔四日市商工会議所副会頭〕）を開催しました。

当日の会議では、三重県雇用経済部濱口正典人権危機管理監より、地域から新しい時代を拓く「地域の成長戦略」として、産業政策全般から再生可能エネルギー、地域資源、観光の産業化や海外展開など「みえ産業振興戦略」についてお話いただき理解を深めました。

その後、三重県健康福祉部増田直樹薬務感染症対策課長より、三重県が本年7月に指定されました「みえライフイノベーション総合特区」についてお話いただきました。

みえライフイノベーション総合特区は、三重県が平成14年度から取り組んでいます「みえメディカルバレー」を基盤に県内に整備されている医療系ネットワークを活用したもので様々な事業が計画されている他、規制の特例措置などが盛り込まれています。

当連合会では、今後「みえ産業振興戦略」「みえライフイノベーション総合特区」等を各地域で有効活用できるよう検討を行ってまいります。また、その事業の一環として県内産業の空洞化を防ぐため、医療・福祉分野などの新分野への参入促進するセミナー等の開催を検討してまいります。



▲濱口三重県雇用経済部人権危機管理監
（中央テーブル左側）



▲増田三重県健康福祉部薬務感染症対策課長
（中央テーブル左から2人目）

第8回 人材確保・育成政策検討会議

～ 愛知県瀬戸市への先進地研修会を実施～

三重県商工会議所連合会（会長：竹林 武一）は、10月30日（火）瀬戸商工会議所（愛知県瀬戸市）にて、第8回人材確保・育成政策検討会議（座長：谷川 憲三〔松阪商工会議所副会頭〕）先進地研修会を開催しました。

当日の研修会は、当政策検討会議委員の他、三重県教育委員会やキャリア教育を推進しているNPO法人にも参加を呼びかけ、平成17年度より小中学校を対象とした瀬戸キャリア教育推進協議会を設置されている瀬戸商工会議所への研修会を実施いたしました。

瀬戸商工会議所では、瀬戸キャリア教育推進協議会 加藤陽一会長（瀬戸商工会議所副会頭）、瀬戸市教育委員会 深見和博教育長をはじめアスバン教育基金 毛受芳高代表理事、(有)ワッツビジョン 横井暢彦代表取締役など各方面から、瀬戸キャリア教育推進協議会の現状についてご説明いただきました。

瀬戸キャリア教育推進協議会は、商工会議所とNPO法人が中心となり教育委員会、学校等、地元企業、保護者など「オール瀬戸体制」の地域ぐるみで「地域と共にある学校」、「学校が地域の拠点」というコンセプトで小中学校のキャリア教育に取り組んでおられ、全国的にもキャリア教育の先進事例として評価されています。

当連合会においては、現在県下全域の高校を対象としたキャリア教育について取り組んでおりますが、今後は瀬戸キャリア教育推進協議会の事例を参考に地域それぞれの特性を活かしたキャリア教育推進のための仕組みづくりについて検討を進めてまいります。



▲谷川人材確保・育成政策検討会議座長の挨拶



▲加藤瀬戸キャリア教育推進協議会長の挨拶